

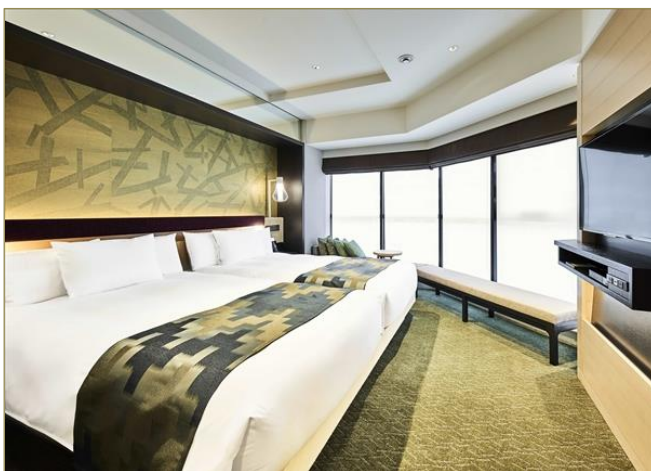
**創業期以来 100 年ぶり、2020 年に向け新ホテルを新橋に開業（12/1）**  
**「お茶」テーマ！ 客室で“茶屋体験”、茶道モチーフのデザインも随所に！**  
**世界的デザイン会社が手掛ける“現代の茶屋”**

**抹茶やほうじ茶使ったヘルシー惣菜とスイーツのレストラン&デリも開業**

ホテル、レストラン運営の老舗、1899年創業の(株)龍名館(東京都千代田区、浜田敏男社長、資本金5千万円)は、「お茶」をテーマに、日本らしさを打ち出したブティックホテル「ホテル1899(イチハチキュウ)東京」(1泊1室2.3万円～)を、新橋・虎ノ門エリア(港区新橋6)に、2018年12月1日(土)に開業します。創業期以来、約100年ぶりに用地を取得し、建設するホテルで、当社の創業年を冠したブランド「1899」の第1号ホテルです。

敷地面積は約370平米で、地上9階建て(延べ床面積約2400平米)、客室数は63室です。

1階には、抹茶やほうじ茶を使った和洋の惣菜を提供する、「日本茶」をテーマにしたレストラン&デリカテッセン「DELI&BAR1899東京」を開業します。ディナー営業を先行して12月20日(木)から開始。ランチとカフェ営業の始まるグランドオープンは、来年2019年1月16日(水)です。



腰をかけてくつろげる「茶屋の縁側」付きの客室

建物全体のデザインコンセプトは「現代的に解釈された茶屋体験」で、世界的な建築デザイン会社(ゲンスラー・アンド・アソシエイツ・インターナショナル・リミテッド)が手掛けます。

場所は、銀座・六本木・丸の内など、人気の観光地に近い好立地です。羽田空港からタクシーで約20分の近さで、JRやメトロなど4駅が徒歩圏内にあるアクセスの良さも売り出します。国内利用(観光、ビジネス)のほか、急増している訪日外国人もターゲットに運営します。

**「茶屋」をイメージした、個性的な4タイプのデザイナーズルーム**  
**縁側付き、茶せんモチーフのインテリアなど、モダンにアレンジされた“お茶文化”を...**

63室の客室(3F-9F)は、「茶屋をイメージした庵(いおり)」をコンセプトにした、個性的な4種のデザイナーズルームを用意し、部屋タイプは2人1室のダブル(18~20平米)とツインルーム(33.6平米)のみの対応です。



お茶を点てる「茶せん」がモチーフの照明を全室に

そのうち35の客室(「スーパーリアダブルA-IORI-」と「コーナーデラックスツイン」)には、縁側に見立てたベンチソファを設置します。

また7室(「スーパーリアダブルB-ENGAWA-」)は、客室のベッド側、奥半分の床全体を約40cm高くして「縁側」を演出するとともに、インテリアに溶け込むように、水場をベッド近くに配置します。室内のい

たるところで茶屋の縁側のように腰をかけて、客室に置く4種の日本茶とともに、旅や仕事の疲れを癒していただきます。

全室ともに、茶道の道具である茶せんをモチーフにした照明や、茶室をイメージした丸い窓、緑茶を連想させるグリーンを基調としたカーペットやインテリアなど、“お茶”の要素を随所に散りばめています。

お客様を迎える2階のフロントは、茶室をイメージした設計です。カウンターに茶釜を用意し、お茶を知り尽くした“茶バリエ”が、湯の温度を管理しながら、日本茶を淹れるほか、ご希望に応じて抹茶を点て、もてなします。

館内全体で、モダンにアレンジされた“茶屋文化”を感じていただけます。



左)奥半分の床全体を約40cm高くして「縁側」を演出、水場もベッド近くにしたコンセプト的な部屋  
右)茶室をイメージしたフロント(2F)は、茶釜を置き、日本茶でもてなす。ご希望に応じて抹茶も点てる

## シャンプーもルームウエアも「お茶」

客室のアメニティや備品も“お茶づくし”です。緑茶成分入りのシャンプーとボディーソープや、茶葉のイラストを刺しゅうしたルームウエアなど、ホテルオリジナル品を用意します。

室内には「1899」ブランドの4種の日本茶(煎茶、玉露、和紅茶、番茶などの10種から日替わりで選定)を、急須と湯呑のセットとともに用意します。「バルミューダ」の高機能電気ケトルを使って、至福の一杯をお楽しみいただけます。

## 快適な睡眠をサポート、「エアウィーヴ」と「京都西川」の寝具を採用

寝具と照明にもこだわり、快適な睡眠をサポートします。寝具は「エアウィーヴ」の「高反発マットレス」と合わせて同社の枕を全室に採用します。さらに枕は、寝具メーカー「京都西川」の「羽毛枕」と「パイプ枕」をツインルームに、「羽毛枕」をダブルルームに完備します。お好みの枕を選べる室内です。

ベッド周りの茶せんをモチーフにした照明は、白から黄色まで、“色温度”のボタンを押すことで好みの色合いに、細かく調節できます。最もリラックスできる照明で、睡眠していただけます。

## フリーWi-Fi、無料スマホ「handy」など最新設備も完備

客室内は最新の設備も備えます。フリーWi-Fiはもちろん、国内外へフリー通話できるスマートフォン「handy(ハンディ)」を無料設置しているほか、空調や照明の調整や、枕などの貸出備品のリクエスト、内線電話、チェックアウトなどの操作が簡単にできる客室専用のタブレット端末なども準備します。

## “お茶料理”や“お茶スイーツ”を提供する、デリカテッセン&レストラン 1Fに開業

ホテル1階は、“お茶料理”や“お茶スイーツ”を提供する、「日本茶」がテーマのレストラン兼デリカテッセン「DELI&BAR (デリ&バル)1899 東京」をオープンします。ホテル開業当初は宿泊客向けに営

業し、朝食メニューをオーダー式のビュッフェスタイルで提供します。宿泊者は、無料をご利用いただけます。朝食のコンセプトは、「美味しいものを、あれこれ、少しずつ楽しめる、お食事どころ」です。

「お茶ソーセージと彩り野菜のグリル」「抹茶ドレッシングのサラダ」「彩りグリル野菜の碾茶(てんちゃ)オイルマリネ」「グリルチキンの抹茶チーズソースがけ」といった日替わりの“お茶料理”など惣菜少しずつを、「抹茶パン」「茶粥」「抹茶豆乳スープ」などとともにお召し上がりいただきます。

一般向けのレストランのグランドオープンは、2019年1月16日(水)です。レストランでは、抹茶やほうじ茶など日でも本茶を使った和洋の惣菜を軸に、からだに優しいスープや夜限定のおつまみなどを用意。惣菜は1品120円からと手ごろな価格設定です。料理は全て、テイクアウト可能なデリメニューとしても提供します。ヘルシーな“日本茶デリ”の数々は、オフィスでのランチや夕食としても便利です。



ヘルシーな“日本茶デリ”の数々を提供。宿泊客は好みの料理を好きなだけ、無料でお食事いただけます

## ミシュラン掲載ホテル（都内2軒）の運営ノウハウと

### 旅館時代から続く高品質なおもてなしが融合するホテル

今回の新ホテル「ホテル1899 東京」は、当社龍名館の3軒目のホテルです。2020年に向けてますます激化するホテル戦争の中、2軒のミシュランガイド掲載ホテル（「ホテル龍名館お茶の水本店」「ホテル龍名館東京」）の運営ノウハウに加え、旅館時代から続く、高品質なおもてなしやサービスといった文化を顧客にアピールします。

年間2万組の宿泊を想定しており、2019年度は4億円の売り上げを新ホテルで目指します。

### 新規開業ホテル 概要

ホテル名	ホテル 1899 東京	開業日	2018年12月1日(土)
住所	〒105-0004 東京都港区新橋6-4-1	客室数	63室(2人1室タイプ)
交通	「御成門駅」徒歩6分、「新橋駅」徒歩9分、「大門駅」徒歩10分、「浜松町駅」徒歩13分		
客室タイプ (4タイプ)	「スーパーリアダブル A -IORI-」28室(20平米)／「スーパーリアダブル B -ENGAWA-」7室(20平米) 「スタンダードダブル」21室(18平米)／「コーナーデラックスツイン」7室(33.6平米)		
客室料金	1泊2万3000円～4万5000円	客室面積	17.9㎡～33.6㎡ ※平均20.6㎡
延床面積	722.19坪(2387平米)	チェック時間	チェックイン15時、チェックアウト12時
駐車場	有料2台有り(1泊2500円)	投資額	約35億円(用地代を含む)
売上目標	年間約4億円	目標宿泊客数	年間20,000組
施工	株式会社 大林組	ホームページ	<a href="http://1899.jp/hotels/tokyo/">http://1899.jp/hotels/tokyo/</a>
運営会社	株式会社 1899 ホスピタリティ	電話番号	03-3432-1899

## 株式会社龍名館 会社概要

所在地	〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-4		
代表者	代表取締役社長 浜田敏男	創業	1899年(明治32年)6月
資本金	50,000,000円	事業内容	旅館・飲食店・不動産経営
系列店	ホテル	「ホテル龍名館お茶の水本店」「ホテル龍名館東京」	
	レストラン	「RESTAURANT 1899 OCHANOMIZU」「花ごよみ東京」「紺碧の海」	

<ご参考資料>

### 老舗「龍名館」、おもてなしの心を受け継ぎながら、旅館からホテル業への転換へ

龍名館の源流である、1899年(明治32年)開業の旅館「旅館龍名館本店」は、日本画家の川村曼舟や伊東深水らはじめ、作家、芸術家など多くの文化人に愛されました。

作家の幸田露伴の次女である幸田文が、小説「流れる」で、帝国ホテルと並び在京の名店に挙げたほか、宿泊した画家が宿泊代の代わりに自身の絵を置くなどのエピソードが残ります。その高品質なサービスや文化、日本旅館のき

め細やかな“おもてなしの心”を受け継ぎながら、当社は昨今、旅館からホテル業への転換を進めてきました。

2009年、東京駅前(八重洲)の「旅館呉服橋龍名館」(1963年「ホテル八重洲龍名館」に改称)を更地にして全面建て替えし、15階建て135室の「ホテル龍名館東京」を開業。2014年には、御茶ノ水の「旅館龍名館本店」を改修。一般旅館から小規模高級ホテルに業態を変更し、全9室がスイートルームでもてなす「ホテル龍名館お茶の水本店」として、開業しました。



1899年開業、木造時代の「旅館龍名館本店」

### ミシュランガイドの高評価を得る2軒のホテル運営ノウハウを活用

新ホテル「ホテル1899東京」の運営には、「ミシュランガイド東京2019」に掲載されるなど、高い評価を得るホテル2棟(「ホテル龍名館お茶の水本店」「ホテル龍名館東京」)で培った、細かな顧客管理や商品企画などの販売ノウハウを活かします。特に東京駅前の「ホテル龍名館東京」は、過去7年連続で、売上を更新し続けています。2017年の宿泊稼働率は約90%で、宿泊人数の海外宿泊客比率は約60%まで高まっています。海外でのウェブ展開や宿泊マニュアルづくり、人材育成などで互いに連動させます。

### 今後も関東・関西の主要都市で新規出店を計画

当社は今後も新規出店を検討しており、「龍名館」と「1899」の2ブランドのホテルを、関東、関西の主要都市で展開したい考えです。2030年以降には、御茶ノ水の「ホテル龍名館お茶の水本店」ビルの全面建て替えの構想があり、多店舗展開でブランド力を上げ、ビル建設時のホテル誘客力やテナント誘致力を高めていきます。

——— 本件に関する報道各位からのお問い合わせ先 ———

(株)龍名館 広報担当 濱田(はまだ)・山口 TEL:03-5298-2988 MAIL:p.r@ryumeikan.co.jp  
 広報事務局(Clover PR内) 福本、富田、澤本 TEL:03-6452-5220 MAIL:cloverpr@cloverpr.net